

ALTERNATIVE CULTURE DVD MAGAZINE

10

2004. October vol.2

Price 1800 Yen

BURST

DVD
VIDEO

DVDマガジン [バースト]

仰天吃驚箱的DVD映像付き

「もし物理的な痛みがなかったら
女性は自らのからだに何をなしえたでしょう？」

特集

裂傷の美

2004年10月号 1冊1800円(税込) 送料別
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 日本郵政グループビル10F
TEL:03-5561-0111 FAX:03-5561-0112

ストライク・ブランディングの達人

ブレア氏

身体
改造

BODY MODIFICATION
NEWS LETTER

来日

BLAIR'S BRANDING FEST
IN TOKYO, JAPAN

7TH.AUG.2004, CRAZY 88 @ AOYAMA CAY

ケロッピー前田●写真&文
Photograph & text by Kero Pie



「暑い夏には、熱いブランディングがよく似合う!!」 8月7日の「焼印祭り」は、焼印希望者殺到のため、さらに滞在先ホテルで3日間にわたるプライベート・パーティを続行し、夏の一大イベントとなった。連日、肌が焦げる臭いの中、ブレア氏の明るい笑顔とハスキーなボイスが響いた。「過激さ」よりも「安全第一」、「実験」や「挑戦」よりも「ウォンキー（愉快）」な感覚を大切にするブレア氏に、改造の楽しみ方の幅の広さを教わった。

焼



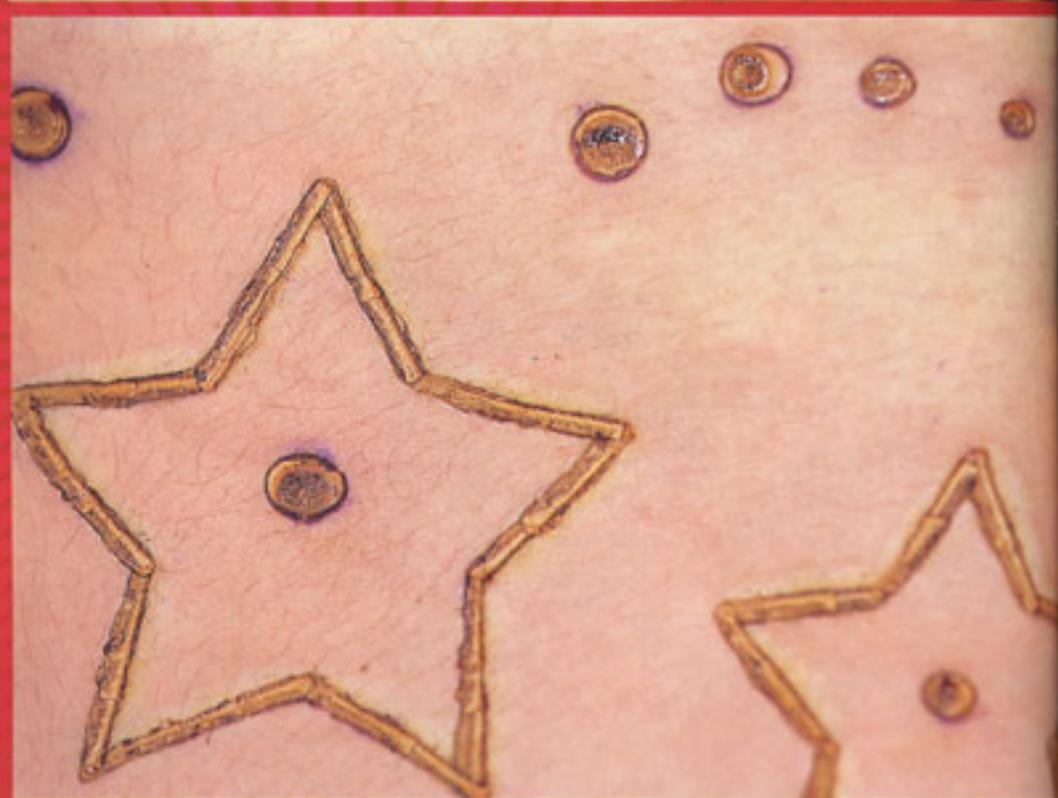
印

8月7日(土)
「クレイジー88」
@青山CAY

祭

DVD
収録

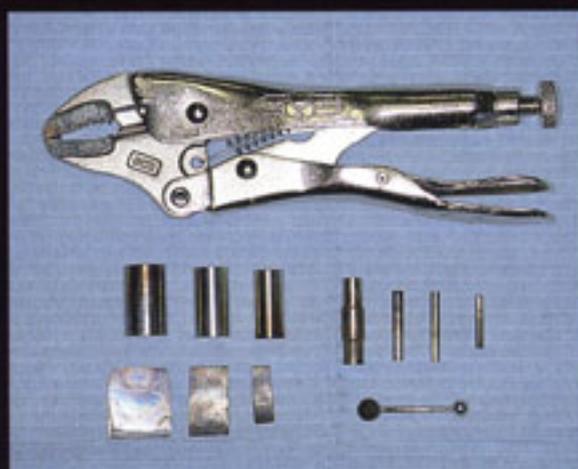
り



ストライク・ブランディングとは

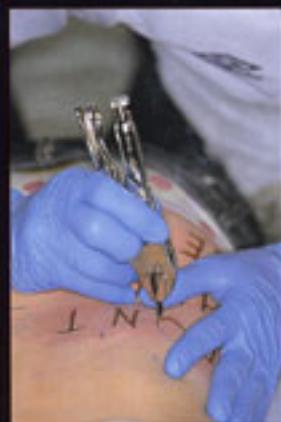
◆バーナーで金属片を熱し、肌に押し当てて行うブランディング(焼印)。形や大きさの異なる金属片を組み合わせて、複雑なデザインのラインも綺麗に焼印することができる。金属片を肌に押し当てると、「ジュッ」と小さい音とともに煙が出る。この皮膚の焦げる臭いがブランディング特有のものである。





ブランディングの 道具と使い方

◆11年におよぶブランディング研究の成果は、その道具と技術に集約されている。固定式のペンチに、大中小の長方形の金属片、円柱形のもの、また、小さなドット用の細い棒、「焼きつぶし（フィールド・イン）」用のパーベルなどが用意されている。金属片はすべてステンレス製で、赤くなるまで熱した瞬間に肌に押し当てるのがコツ。肌が焦げる音で焼き具合を確認しているという。



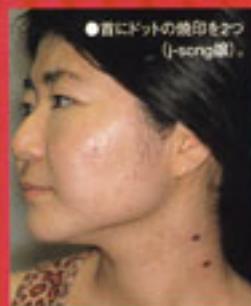
● 耳と頬をイメージしたアキラ氏の得意の「最終シリーズ」(ナニキキ)。



● 「DON'T HURT ME (傷くないで)」とある「カゲコ嬢」。

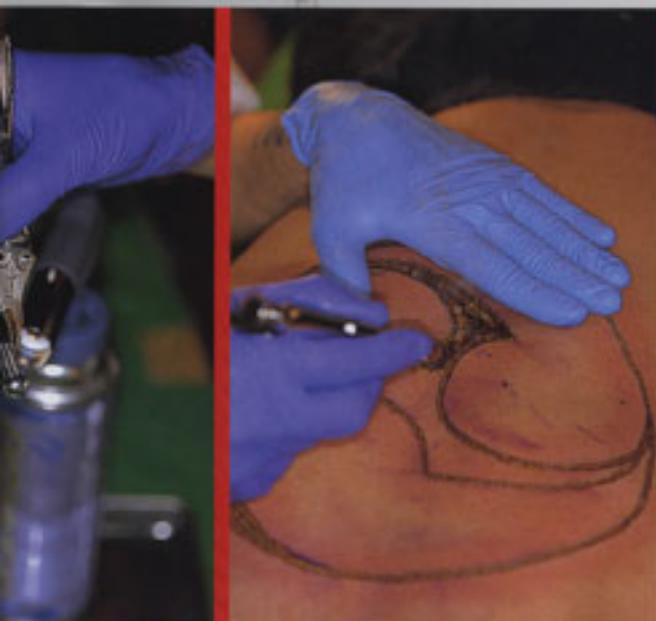


● 唇をイメージした作品 (ジュン&メイ夫妻)。



● 首にドットの烙印を2つ (J-song嬢)。





ブレア氏のブランディング・テクニック

ブレア氏の必殺技、「焼きつぶし（フィールド・イン）」は、ハイフリケーター（電気式焼こて）の焼きつぶしの原理を応用したもので、ピーリング（皮はぎ）のように、大きな面の腐蝕を残すことができる。背中全面「ともえ」の作品では、大きなバーベルのボール部分をバーナーで熱し、一気に焼きつぶすと激しい煙が上がった。



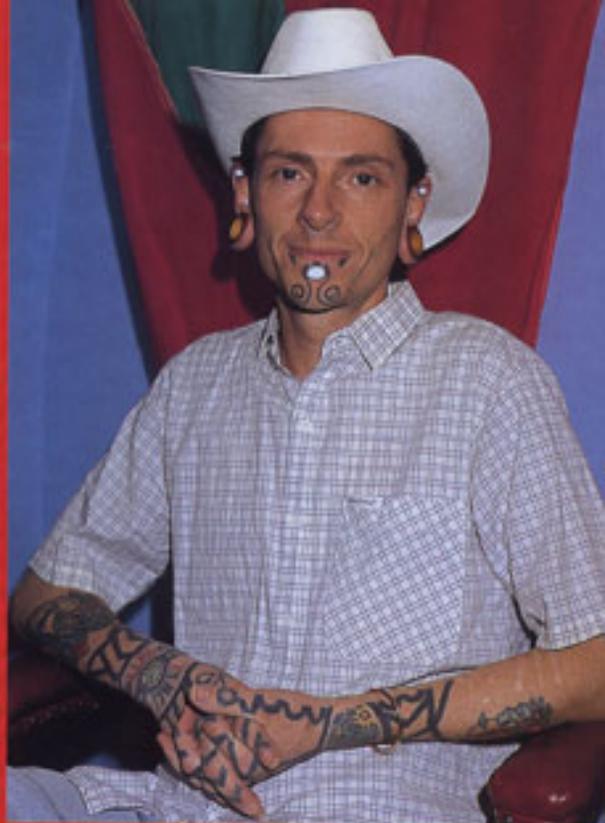
●「ともえ」は「焼く」の意で「ともえ」は大規模な

●shiho様

●yuyu様

●レオナルド・ダ・ヴィンチ

●2017



改造アーティストとしてのブレア氏

◆身体改造ホームページBMEの本拠地、カナダのトロントにて、腕利きのピアッサーとして信頼の厚いブレア氏。プランター（焼印職人）として11年のキャリアを持つばかりでなく、スプリット・タンやサーフェイス・ピアッシングなど、最新鋭の身体改造に独自の方法論で挑んでいる。

「人生を楽しめ」「改造を楽しめ」 ブレア氏が指南する身体改造愛好法

カナダ、トロントより、ブラントインク（焼印）のトップ・アーティスト、ブレア氏が来日した。8月7日に行われた「焼印祭り」は大盛況で、焼印希望者が多数のために、「焼印祭り」はブライベイト・パーティーの形で滞在先ホテルにて、さらに3日間延長された。

ブレア氏は、身体改造ホームページBMEの本拠地であるカナダ、トロントにて、プロのピアッサーとして活躍しているというところから、最新鋭の身体改造情報に生で触れる機会も多く、難易度の高い改造に伴う「リスク」にも直面してあり、身体改造の「過激さ」や「衝動性」を求める方も多く、「安全第一」で、数々の

アイデアや方法論を盛り込んだ応用をきかせている。得意のブラントインク分野でも、ストライク・ブラントインク（金属片をバーナーで熱して肌に押し当てる方法）をさらに進化させるために、ハイフリケーター（電気式焼

ごて）も研究しており、ハイフリケーターだと簡単に出来る焼きつがしを、バーベルのボール部分を熱して行う「焼きつがし（フィルド・イン）」という画期的なブラントインク技術に仕上げている。カットティングについても、他のアーティストとは異なる丸い形の刃を用いて、切り口の深さに軌跡なこだわりを見せるなど、独自の視点に自信とこだわりを持つ

インブラントの開発者スティーブ氏や、医療用メスの腕補師ルーカス氏に続き、焼印の達人ブレア氏が来日したことは、単に改造が「過激さ」に走るばかりでなく、それを「如何に楽しむか」こそが重要であることを教え、改造依頼者の美意識を高めたアーティスト。その、アーティストの卓越した技術の可能性をより広げていくものであることを教えてくれている。ブレア氏の笑顔の向こうに、改造愛好の奥深さを見たのだった。

★ルーカス・スティーブ氏来日★10月1日〜10月21日（ロイヤル・ホテル・トロント）
★ブレア氏来日★10月21日〜10月27日（ロイヤル・ホテル・トロント）
★ベイトマン氏★改造の相談など受付中、問い合わせはブログにて
（Copyright © BME Inc. All rights reserved.）



ブレア氏のカットティング

◆ブレア氏曰く、細いラインを希望する場合はカットティング、太いラインを希望する場合はブラントインクを勧めているという。カットティング技術においても他のアーティストが尖った形のメスを使っているのに対して、刃の形が丸いメスを用い、深く切り過ぎないことに細心の注意を払っている。また、カットティングと焼印の組み合わせにも挑戦した。



◆カットティングと焼印の組み合わせ、この作品はケロッピーの腹部に施されたもの。



●背中に施された幻想的な時計（Joker氏）。

